



ロータリー：
変化をもたらす

パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ: 奉仕の理想のさらなる実現に向けて

パワー浜松ロータリークラブ (2017-18年度 会長: 長谷川 博久 幹事: 後藤 達朗)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC

第712回例会 4月3日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 安間利広 松島弘明
- 点鐘: 長谷川博久
- ゲスト: 静岡第7分区ガバナー補佐 佐原功一郎 様
同 事務局長 白井繁充 様
浜名湖 RC 幹事 内山悦二 様
RI 第2620地区 米山学友会理事 上野佳子 様
- 議事: 米山記念部会「知恩報恩・社会奉仕～学友会活動を
中心に」

〈出席報告〉

会員数 77名(内 出席免除会員3名)

出席数 62名 出席率 72,97%

前々回出席率 88%

スマイル 13件

■会長挨拶 長谷川会長



おはようございます。本日は、ガバナー補佐の佐原様、事務局長の白井様、幹事の内山様がお見えになっております。今週が最後のガバナー補佐公式訪問ということでお疲れさまでした。また、先の IM では多文化共生をテーマに講演会や楽しい懇親会もあり、大変良かったと感じました。本当にありがとうございました。そして、本日は米山学友会の上野様にもお越しただいております。後ほど卓話をしていただけたということで楽しみにしています。

さて、今日は少し寿命の話をしていただきます。寿命といってもコンクリートの話でコンクリートの寿命は60年から80年とされています。中には100年以上持つと言われてもいるかもしれませんが条件によって大きく変わるかと思われまます。一般にコンクリートの強度は工場で作ったものと現場で作ったものと大きく違いまして現場で作ったものは条件に

よって強度もバラバラです。また、コンクリートは一般的にセメントと砂と砂利でできていましてその比率は1:3:6 ぐらいとされています。この中でコンクリートの強度に大きくかわるのが水の量でして適正水の量であれば問題ありませんが多かたりすると強度が弱くなったりします。そうした意味でそれぞれの材料のバランスが非常に重要になってきます。これは、人間の身体にも言えることで寿命を長くしたいのならバランスのいい一配合が必要となってきますのでやはり、偏りがあると目的の強度も出ない可能性がありますし、何より将来的な不安も残りますし、そういった物事にも目をかけていただきたいと思います。

この後、ガバナー補佐の佐原様の挨拶もございましてこの話はこの辺にさせていただいて本日もよろしくお願いたします。ありがとうございました。

■幹事報告 後藤幹事



- ① レターケースの中にロータリーの友7月号が入っております。
- ② 次年度のご案内です。予算セッション、事業計画のすり合わせが4月8日(日曜)13時半より行われるので担当の委員長、部会長は参加してください。

■委員会報告

ゴルフ同好会 松本さん

5月13日に予定されています、11ロータリーのゴルフコンペへの参加の申し込みを本日の例会終了をもって締め切りとさせていただきます。現在10名程度の参加予定です。参加される方は宜しくおねがいします。

■ガバナー補佐公式訪問

静岡第7分区ガバナー補佐 佐原功一郎様



2017-18年度も早や2/3(9カ月)が過ぎました。この間パワー浜松クラブの皆様方には第7分区の運営にご理解ご協力を頂き誠にありがとうございます。また貴クラブにおかれましては長谷川会長・後藤幹事のリーダーシップの下、エンドポリオ募金活動や防潮堤の松の植樹等々様々な事業を積極的に推進されておりますことに心より敬意を表する次第でございます。

また過日開催されました第7分区として最後のIMには、多くのメンバーの方々にご参加頂き、心強いご支援ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

ありがとうございます。お陰様にて、「多文化共生」を切り口に今後のロータリー活動に示唆を得られた実りあるミーティングにさせて頂くことができました。

またその後設けさせて頂いた懇親会では、第7分区の歩みを振り返り我々の活動の方向性・持続性・有効性を共有しながら、楽しい温かな雰囲気ですべてを深めることができました。改めて厚くお礼申し上げます。

次年度からは、静岡第5グループとして11クラブが互いに協力して、互いに切磋琢磨しながら其々の「奉仕の理念」の具現化に向けてロータリー活動を深め、広めていきたいと考えております。今後も変わらぬ親交とご協力をお願い申し上げます。

さて、本日は本年度最後のガバナー補佐訪問となります。僭越な物言いで恐縮ですがロータリー活動に対する持論を述べさせていただきます。それは「ロータリー活動の主体はあくまで其々のクラブであり、周囲の前例や慣例に捕らわれることなく、自らの独自性や特色をもって計画立案や活動展開を積極的に進めて頂きたい。必要なら遠慮せず地区や分区に支援要請をし、また不可欠であれば躊躇なく規定や定款は変えれば良い」ということです。これがクラブの活性化にも繋がり、RIの求める「変化」にも応える事だと思います。もともと特色あるクラブの多い分区ですが、更なる取り組みに期待したいと思います。

最後になりましたが、本年度打ち出された方針や目標・計画が達成され貴クラブが増々活性化しご発展されますことをご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

■議事

米山学友会理事 上野佳子様 卓話

「知恩報恩・社会奉仕～

学友会活動を中心に」



この度は、卓話の機会をいただきまして、誠に有難うございます。私は中国武漢市の出身で1990年10月に初来日。日本語学校、法政大学を経て99年4月より東京大学大学院の博士課程に進学し、この折に米山奨学生となりました。終了後、浜松へ移住。2009年3月、当地区の米山学友会が設立時に会員になり、2011度から副会長・会長を歴任し、現在は理事を務めております。

民間最大規模の米山奨学事業は、大勢のロータリアンの寄付によってこれまでに、19808人の奨学生を支援してきました。また最大の特徴である世話クラブやカウンセラー制度のおかげで、私たちはロータリアンの皆様に出会い交流し、ロータリーの奉仕の精神などを学ぶことができます。また奨学期間終了後も、米山学友としてロータリーとの関わりを持ち続けます。

「社会奉仕活動を通じて恩返し」をモットーに、当学友会は年次総会、奨学生オリエンテーション・研修会・期間終了式などの通常行事のほか、社会奉仕活動を自主企画・実施してきました。清掃奉仕、環境保全では焼津海岸や甲府駅前での清掃作業や地元RCで防潮堤植林事業への参加、柿田川湧水公園で外来種を除去する清掃作業にも3年連続で参加しております。被災地支援では、2013年2月と14年4月に宮城県、岩手県を訪問し被災地に河津桜を植えてきました。国際奉仕においては、ポリオ撲滅募金活動やタイの中学生への就学支援、スリランカへも2年続けて支援事業（子供に文房具、病院に医療器具を寄贈）を実施しました。学友同士、現役奨学生、ロータリアンとの親睦交流も学友会の目的の1つです。地区内での活動はもとより、帰国した元奨学生を訪ねたり、他の米山学友会とも交流したりするなど、米山の輪を広げております。

これからも「奉仕の精神」を広める活動を続けますのでご指導・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

